

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和6年8月】

■調査概要（データ対象期間：令和6年8月1日～8月31日）

○調査期間：令和6年8月31日～令和6年9月20日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査及び全会員対象のWeb景気動向調査アンケート

○回収状況：建設業17企業、製造業16企業、卸売業10企業、小売業15企業
飲食業11企業、サービス業33企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計102企業>

○調査項目：8月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

○判断の基準

	好調	やや好調	横ばい	やや低調	低調
DI値	DI ≥ 20	20 > DI > 5	5 ≥ DI ≥ ▲5	▲5 > DI > ▲20	▲20 ≥ DI

1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)はやや低調
前月(横ばい)からは悪化(▲2.7→▲5.9)
- 全産業合計の水準DIはやや低調
前月(やや低調)からは好転(▲10.2→▲8.9)

	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
業況DI	低調	低調	低調	やや好調	好調	やや低調
水準DI	低調	低調	横ばい	やや低調	好調	横ばい

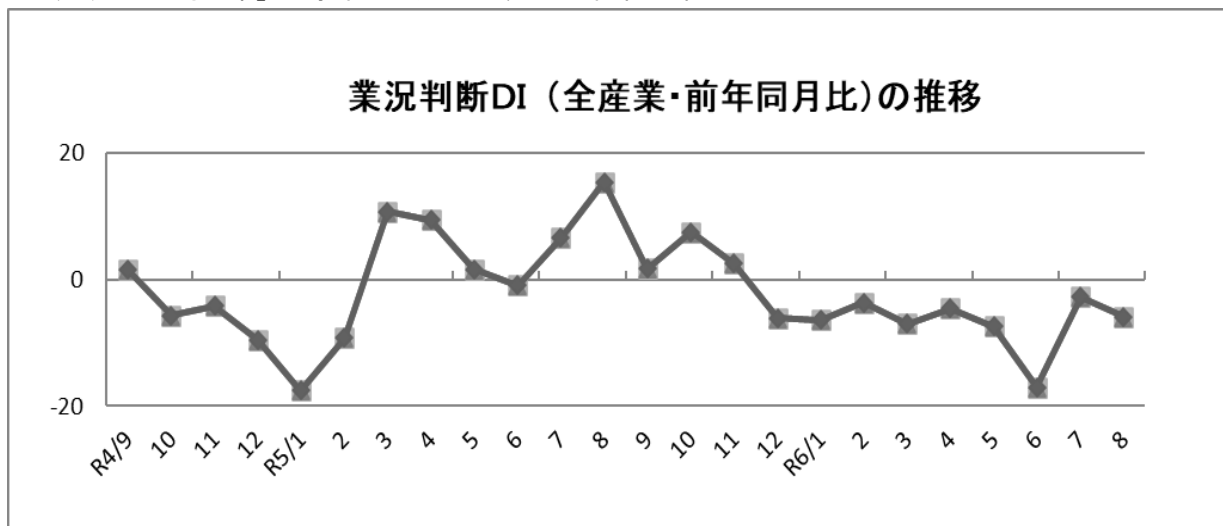
	業況[前年同月比]					今月の水準				
	好転%	不変%	悪化%	DI	前月との差	良い%	普通%	悪い%	DI	前月との差
合計	18.6 (16.7)	56.9 (63.9)	24.5 (19.4)	▲ 5.9 (▲ 2.7)	▲ 3.2	18.6 (15.7)	53.9 (58.4)	27.5 (25.9)	▲ 8.9 (▲ 10.2)	1.3
建設業	5.9 (6.3)	58.8 (56.2)	35.3 (37.5)	▲ 29.4 (▲ 31.2)	1.8	5.9 (0.0)	47.0 (62.5)	47.1 (37.5)	▲ 41.2 (▲ 37.5)	▲ 3.7
製造業	12.5 (33.3)	50.0 (61.1)	37.5 (5.6)	▲ 25.0 (27.7)	▲ 52.7	12.5 (22.2)	50.0 (61.1)	37.5 (16.7)	▲ 25.0 (5.5)	▲ 30.5
卸売業	10.0 (7.7)	60.0 (84.6)	30.0 (7.7)	▲ 20.0 (0.0)	▲ 20.0	20.0 (23.1)	60.0 (46.1)	20.0 (30.8)	0.0 (▲ 7.7)	7.7
小売業	40.0 (0.0)	33.3 (81.2)	26.7 (18.8)	13.3 (▲ 18.8)	32.1	26.7 (18.8)	40.0 (56.2)	33.3 (25.0)	▲ 6.6 (▲ 6.2)	▲ 0.4
飲食業	54.5 (41.7)	36.4 (41.6)	9.1 (16.7)	45.4 (25.0)	20.4	45.5 (33.3)	45.4 (50.0)	9.1 (16.7)	36.4 (16.6)	19.8
サービス業	9.1 (15.2)	75.7 (60.6)	15.2 (24.2)	▲ 6.1 (▲ 9.0)	2.9	15.2 (9.1)	66.6 (63.6)	18.2 (27.3)	▲ 3.0 (▲ 18.2)	15.2

※緑色の部分が前年同月と比較し増加した業種となります。

()内は前月データ

「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計

「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計



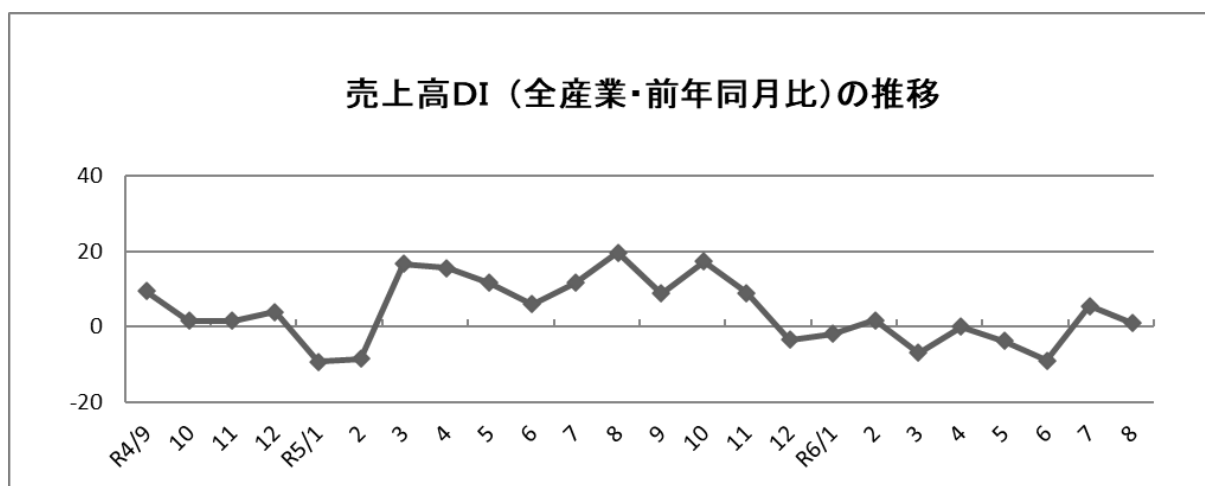
2. 売上高

- 全産業合計の売上高DIは、横ばい。
前月(やや好調)からは悪化(5.5→1.0)

業種ごとの売上高DI(前年同月比ベース)					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
低調	やや低調	横ばい	やや好調	好調	やや好調

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

R5.8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
19.7	8.8	17.3	9.0	▲ 3.5	▲ 1.8	1.8	▲ 6.9	0.0	▲ 3.7	▲ 8.9	5.5	1.0



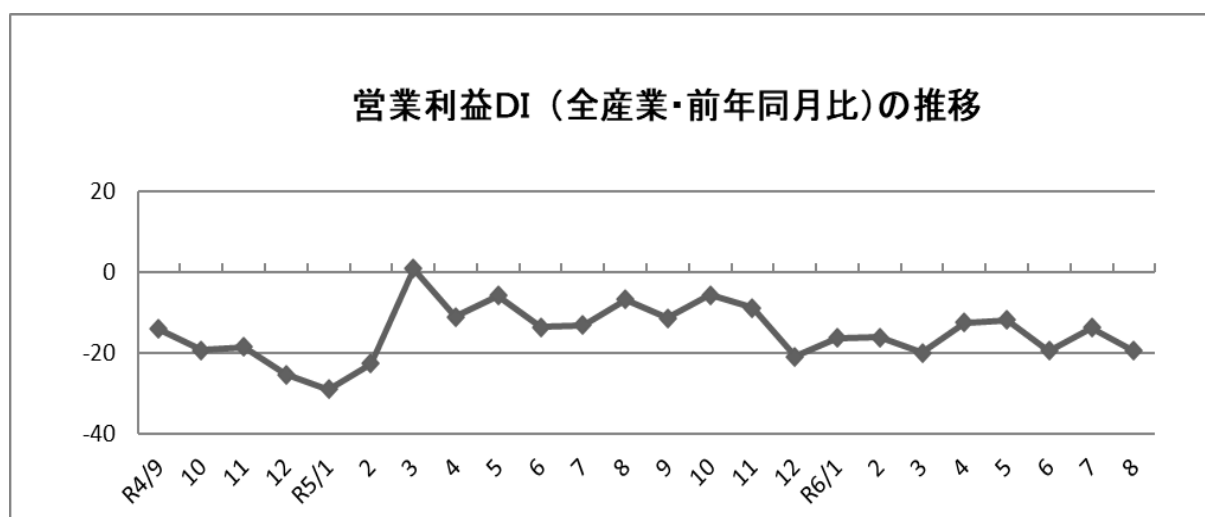
3. 営業利益

- 全産業合計の営業利益DIはやや低調。
前月(やや低調)からは悪化(▲13.9→▲19.6)

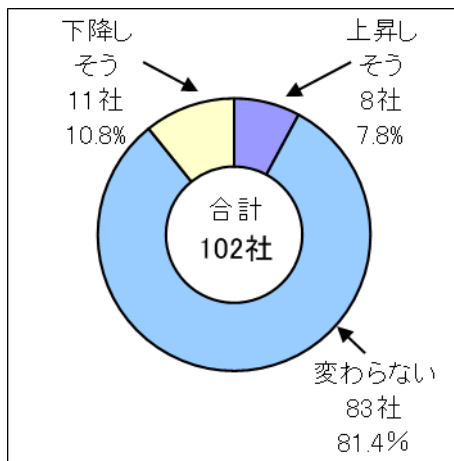
業種ごとの営業利益DI(前年同月比ベース)					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
低調	やや低調	低調	横ばい	横ばい	やや低調

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

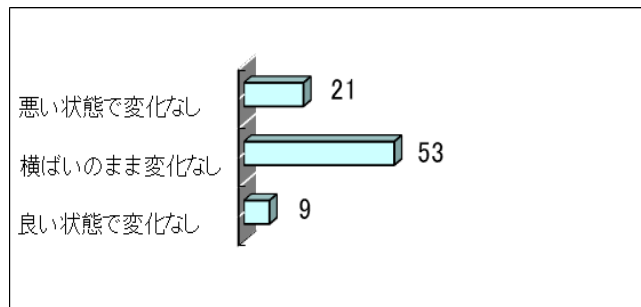
R5.8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
▲ 6.8	▲ 11.4	▲ 5.8	▲ 8.9	▲ 20.9	▲ 16.4	▲ 16.2	▲ 20.0	▲ 12.6	▲ 11.9	▲ 19.6	▲ 13.9	▲ 19.6



◇ 向こう3カ月の見通し ◇



◆ 『変わらない』の内訳 ◆



令和6年9月～令和6年11月の見通しDIは、「上昇しそう」が減り(8.3%→7.8%)、「下降しそう」も減った。(13.0%→10.8%)であった

業種ごとの見通しDI					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
やや低調	横ばい	横ばい	やや低調	やや好調	横ばい

今後3ヶ月の見通しに対する各業種のコメント

【建設業】

「下降しそう」 新規工事の発注も見積依頼もないため

【製造業】

「上昇しそう」 閑散期の夏を過ぎるため
8月は稼働日が少なかったことや客先の棚卸等があり売上が伸びなかったため
受注が確保できているため

「下降しそう」 在庫不足のため
受注量減少のため

【卸売業】

「上昇しそう」 値上げを控えているため
9月は三連休が2回あり観光客で混雑しそうなため

「下降しそう」 受注件数が減っているため

【飲食業】

「上昇しそう」 秋の行楽シーズンが到来するため

【サービス業】

「上昇しそう」 天候不順がなければ引き続きインバウンドの盛況が続きそうなため
予約が好調のため

「下降しそう」 テーマが少ないため

業種別景況

1. 建設業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
低調	低調	やや低調	低調	やや低調
前月比 4.4減少	前月比 16.2減少	前月比 11.4減少	前月比 2.6増加	前月比 0.7増加

【項目別DIの推移】

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲27.7	▲17.6	▲5.9	0.0	▲5.3	▲11.7	▲13.3	▲22.2	▲21.0	▲25.0	▲38.8	▲25.0	▲29.4
受注量	▲16.7	▲11.7	▲5.8	▲5.0	▲5.2	▲11.7	▲26.6	▲16.6	▲21.1	▲30.0	▲27.7	▲25.0	▲41.2
受注単価	5.6	5.9	5.9	5.0	5.3	5.9	0.0	0.0	0.0	5.0	▲5.6	▲6.2	▲17.6
営業利益	▲38.8	▲29.4	▲17.6	▲5.0	▲15.8	▲23.5	▲13.3	▲22.2	▲21.0	▲30.0	▲50.0	▲43.8	▲41.2
見通し	5.5	5.9	0.0	0.0	▲10.5	▲5.9	▲13.3	▲11.1	0.0	15.0	5.5	▲12.5	▲11.8

<経営者の目・見方・e t c>

鉄工

- ・建設業は今期非常に厳しい状況にあるような感じがする。人手不足、若年者の入職難、2024年問題の対応、資材や燃料の高騰等、以前から心配されていたことであるがついに表面化してきている。今後もすぐには解決できない問題だから心配である。

総合建設

- ・長野県内はまだ良い方であるが、全国的に建築物件が減少し単価下落が起きている。来年までこの傾向が続くのではと商社から聞いている。

建設業

- ・公共工事の発注量が例年より少ない。材料価格は高止まりしている状態。材料によっては今後も価格上昇する可能性が高い。

土木工事

- ・能登の災害を教訓に、災害発生後72時間以内の救急救命活動、物流確保のための林道を含む道路網の点検整備が必要と考える。

2. 製造業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
やや低調	低調	やや好調	やや低調	横ばい
前月比 57.6減少	前月比 52.8減少	前月比 27.0減少	前月比 24.2減少	前月比 16.7増加

【項目別DIの推移】

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	5.5	6.7	11.1	5.9	▲ 23.5	11.8	6.2	▲ 31.5	▲ 5.9	5.0	▲ 22.2	38.9	▲ 18.7
受注量	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 31.6	▲ 23.5	▲ 5.0	▲ 11.1	27.8	▲ 25.0
受注単価	16.7	▲ 6.7	16.7	0.0	0.0	23.5	12.5	▲ 10.5	11.7	15.0	11.1	33.3	6.3
営業利益	▲ 33.4	▲ 13.3	▲ 27.7	▲ 29.5	▲ 35.3	▲ 5.9	▲ 25.0	▲ 57.9	▲ 35.3	0.0	▲ 16.6	5.5	▲ 18.7
見通し	16.6	0.0	16.6	▲ 5.8	▲ 17.6	23.5	6.3	0.0	0.0	0.0	11.1	▲ 16.7	0.0

<経営者の目・見方・etc>

印刷

・某大手信用調査会社の景気動向調査レポートで、5月から、業種別DIランキングのベスト10だけでなくワースト10が掲載されるようになった。この報告でも、出版・印刷が4ヵ月連続でワースト1位である。また、紙・パルプ業界がワースト2位だった月もあり、紙類・文具・書籍卸売りもワースト10に連ねている。印刷関連業界の逆風が極めて強いことが分かる。これらの業界は、公立の教育関係とも関りが深く、「予算がない」思考も根深い。「予算をつくる」発想を学び、デフレから積極的に脱却せねばならない。

金属塗装

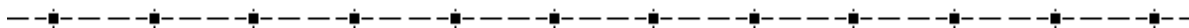
・親会社の景気があまり良くなく、お盆休みが長いいため受注が大幅に低下し、売上、利益とも低下した。

精密機器組立

・最低賃金が過去最高の上げ幅となること。

小型情報機器組立

・受注量は少しではあるが上昇しつつある。



3. 卸売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
横ばい	横ばい	やや低調	低調	横ばい
前月比 23.1減少	前月比 15.4減少	前月比 25.4減少	前月比 24.6減少	前月比 23.1増加

【項目別DIの推移】

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	9.1	▲ 8.3	▲ 9.1	0.0	21.5	▲ 15.4	0.0	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 6.7	▲ 38.5	23.1	0.0
販売客数	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 16.7	▲ 7.1	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 15.4	6.6	▲ 30.8	15.4	0.0
販売客単価	27.3	8.3	18.2	0.0	14.3	▲ 7.7	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 7.7	15.4	▲ 10.0
営業利益	▲ 18.2	▲ 16.7	▲ 27.2	▲ 25.0	▲ 7.1	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 46.2	▲ 15.4	▲ 40.0
見通し	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 18.2	0.0	▲ 7.2	▲ 23.1	0.0	▲ 7.7	15.4	0.0	▲ 30.8	▲ 23.1	0.0

<経営者の目・見方・etc>

自転車

・業界全体が低調のままである。人材不足を感じる。連休は来店客数が伸びないため。休みにする店舗が増えている。値上げする仕入先と価格据え置き仕入先とで別れてきている。為替相場に注目しなくてはならない。9月から松本市で65歳以上向けに自転車用ヘルメット補助があるため期待したい。

土産品

・お盆前の三連休は人出、売上とも好調だったが、ゲリラ豪雨の影響もあり後半の伸びは緩やかであった。

金属製品

・依然としてあらゆる業界が低迷している状況で、仕事量も少なく、加工単位も上げきれていない。流通はダブつき感があり、市況も弱含みである。

製菓材料卸売

・観光客は増加しているようだが、土産品においては菓子関連は苦戦しているようだ。

4. 小売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
やや好調	やや低調	やや低調	横ばい	やや低調
前月比 12.8増加	前月比 12.1増加	前月比 0.4減少	前月比 31.2増加	前月比 0.8減少

【項目別DIの推移】

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	40.0	▲ 15.0	14.3	▲ 16.7	10.6	0.0	9.1	19.1	6.6	▲ 16.0	18.8	▲ 6.2	6.6
販売客数	20.0	▲ 20.0	9.6	▲ 5.6	0.0	5.5	9.1	0.0	0.0	▲ 16.0	6.2	▲ 18.7	▲ 6.6
販売客単価	15.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 5.6	0.0	▲ 5.6	9.1	19.1	20.0	▲ 12.0	12.5	▲ 6.2	▲ 6.6
営業利益	5.0	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 15.8	▲ 22.2	▲ 18.2	▲ 19.0	6.7	▲ 24.0	0.0	▲ 31.2	0.0
見通し	0.0	0.0	▲ 19.0	▲ 5.6	▲ 21.1	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 12.5	▲ 13.3

<経営者の目・見方・etc>

洋菓子店

・暑さが厳しかったがお盆期間の来客は多かった。多品目の材料が毎月のように値上がりしている。その分商品も値上げしているので客単価は上がっているが、販売個数は減っている。

印章

・猛暑でケーキは売れなかった。特にお盆過ぎはダメだった。
 ・松本城は電子チケット導入のお陰か、黒門外の待機列がゴールデンウィークに比べ随分減った。街中は外国人を含む観光客が増えて、コロナ禍前より賑わっていたと思う。

印章・刃物研ぎ

・猛暑にもかかわらず入込みは国内・海外問わず増えている。

生鮮食品

・今月はとても忙しかった。お盆期間中は県内外から多数お客様が来店した。何を仕入れても価格が上昇している。

5. 飲食業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
好調	好調	やや好調	横ばい	やや好調
前月比 28.7増加	前月比 20.4増加	前月比 1.5増加	前月比 8.4増加	前月比 7.6減少

【項目別DIの推移】

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	64.3	64.3	64.3	50.0	0.0	7.7	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	33.3	16.7	45.4
販売客数	57.2	57.2	50.0	20.0	15.4	7.7	8.4	▲ 25.0	0.0	▲ 6.2	16.7	25.0	45.4
販売客単価	28.6	7.1	28.6	10.0	7.7	0.0	0.0	25.0	7.7	6.3	16.6	16.7	18.2
営業利益	28.6	0.0	14.3	▲ 10.0	▲ 53.8	▲ 15.4	▲ 16.7	▲ 41.6	▲ 15.4	▲ 37.5	▲ 8.3	▲ 8.4	0.0
見通し	7.2	7.2	14.3	0.0	▲ 7.7	7.7	33.3	16.7	7.7	25.0	25.0	16.7	9.1

<経営者の目・見方・etc>

寿司

- ・8月はお盆をはじめ日並びが良かったこともあり、帰省客を含む県外観光客が非常に多く好況に繋がった。今後の課題は、今秋に控える各種仕入物品の値上げに伴う価格転嫁を行うか否かである。昨年までと異なり、特に日常使いでご利用いただく店舗やメニューについては判断が難しく、他社の方々はどうお考えなのか、調査してほしい。

食堂

- ・夏休み中の帰省家族連れが多く目立った。
- ・気候変動の影響で8月の長い盆休みは人出も予約数も良かったが、後半は高温続きで来客数が減り、電気料金は過去最高額で、いつまで続くか心配である。

郷土料理

- ・外国人の旅行客が来店するようになった。
- ・昨年同月より客数が一組多い。新型コロナウイルス感染症の終息感からか大人数で出かける傾向にある。外国人客も増えており、インバウンドが戻ってきている。

中華料理

- ・お盆休みが九連休と長く、昼夜問わず多くの観光客が来店された。松本ぼんぼんの時間短縮によりお客様が短時間集中となり、従業員も早く帰れるので助かった。

6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
やや好調	横ばい	好調	やや低調	横ばい
前月比 12.1増加	前月比 3.0増加	前月比 3.1減少	前月比 15.2減少	前月比 9.1減少

【項目別DIの推移】

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	25.0	19.4	22.5	20.0	▲ 12.1	▲ 3.1	3.0	9.4	17.7	10.5	▲ 2.9	▲ 3.0	9.1
販売客数	8.3	11.1	12.5	8.6	▲ 18.1	▲ 3.2	9.1	12.5	14.7	10.5	0.0	▲ 6.0	▲ 3.0
販売客単価	19.4	19.4	27.5	11.4	▲ 3.1	0.0	6.0	18.8	17.6	23.6	5.7	24.3	21.2
営業利益	5.5	5.5	12.5	11.4	▲ 12.1	▲ 12.5	▲ 9.1	6.3	▲ 5.9	5.3	▲ 8.6	▲ 3.0	▲ 18.2
見通し	13.9	8.3	2.5	0.0	▲ 6.1	▲ 6.3	9.1	9.3	3.0	13.2	8.5	9.1	0.0

<経営者の目・見方・etc>

ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊はインバウンドを含め好調だった。宴会もコロナ禍前に戻ったように感じる。今のところ新規開業の予定はない。 ・台風によるキャンセルが多発した。
観光旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・7月初旬の豪雨による道路の復旧ができていない場所もあったが、月末までは好調な入込であった。しかし、台風のニュースが流れ、動きが遅いためキャンセルが長期にわたり、実質的な被害はなかったが大きなマイナスとなってしまった。
温泉旅館 宿泊	<ul style="list-style-type: none"> ・台風他気象条件によって大きく変わる。 ・前半は好調に推移したが、後半のノロノロ台風騒ぎでキャンセルが相次ぎ、最後は伸びなかった。
ホームクリーニング・ リネンサプライ業	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的安定した経営状況であり、少し余裕がある時に非常時の備え等について整備しておきたい。
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> ・年末、期末のテーマがない。
ビル・住宅総合メン テナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・資材の値上げが相次ぎコストが上がってきている。なかなか価格転嫁ができず苦戦を強いられている。
システムサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働日数減に加え、盆の連休が繋がったため、前半と後半の行動が分断され不効率な業務展開となった。
美容	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライヤーなどの美容器具類の販売促進に力を入れたため今月は結果が出た。

